

低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン (2011～2021)

～横須賀市地球温暖化対策行動計画～

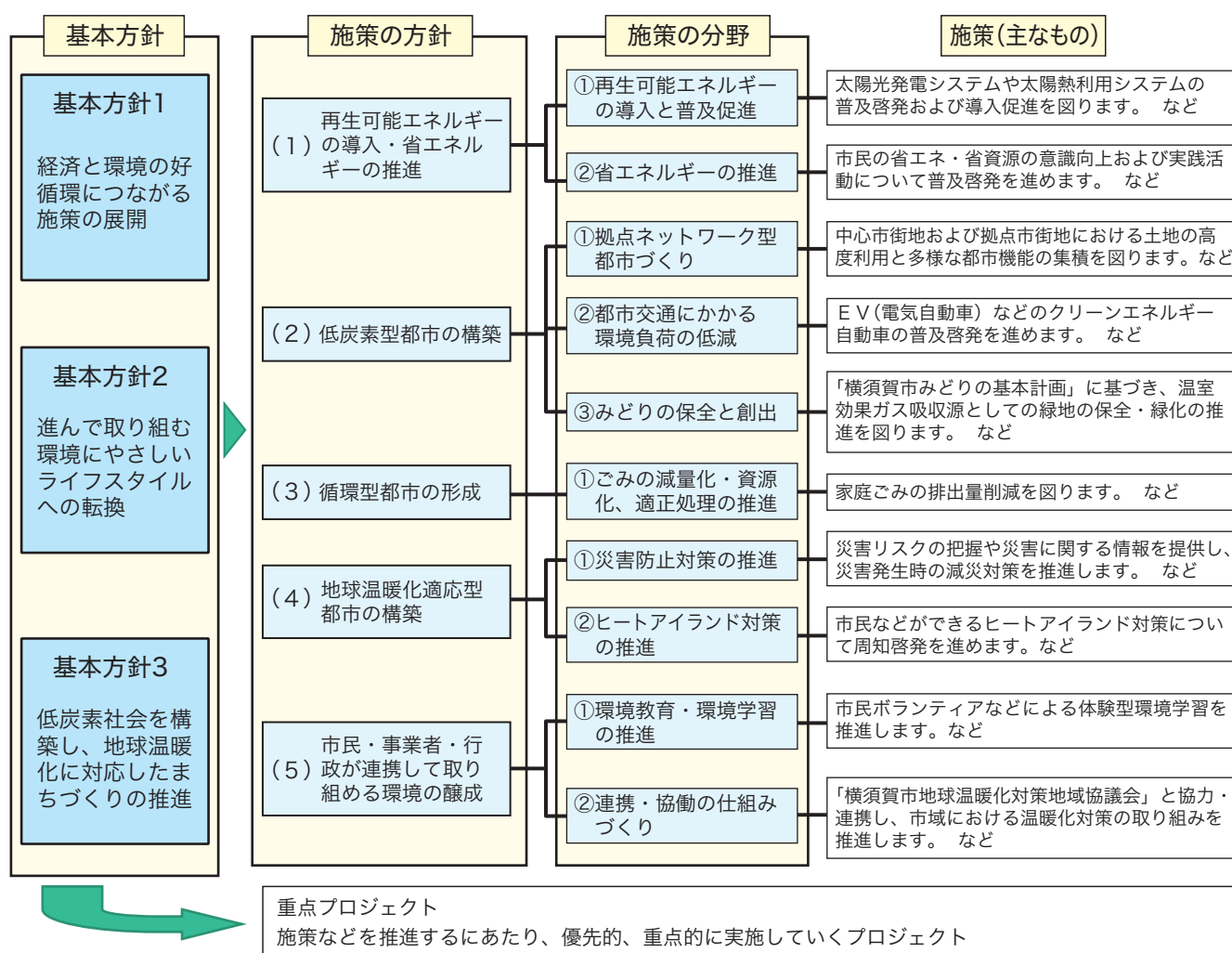
概 要 版

1 計画策定の趣旨

地球温暖化対策を地域において推進していくにあたり、短期的な視点だけではなく、将来の横須賀市を見据え、次世代を担う子どもたちにより良い横須賀市の環境を引き継いでいくため、市民、事業者、市などが役割分担あるいは協働し、総合的、かつ、効果的に地球温暖化対策を推進していくことを目的として策定しました。

なお、計画の体系は以下のとおりです。

図1 計画の体系



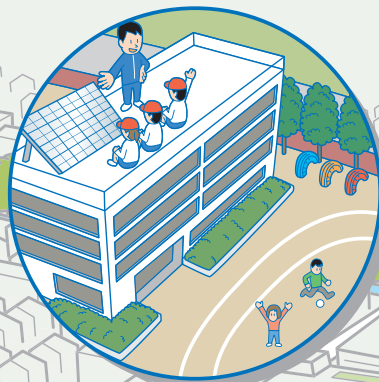
2 将来イメージとその達成に向けた事業・取り組み

このイメージは、本計画の目標年度である2021年度(平成33年度)に実現を目指す横須賀市のまちの将来イメージと目標達成に向けて推進していく主な事業・取り組みの例を表したものです。



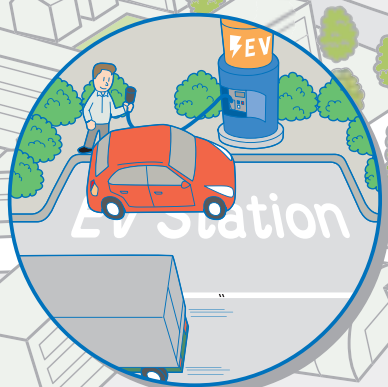
省エネルギーの推進

- ・環境家計簿などを活用した省エネルギー活動への取り組みの促進
- ・家庭でのエネルギー使用量がわかる「省エネナビ※1」などの普及についての検討



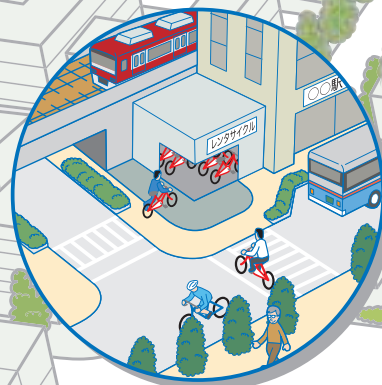
環境教育・環境学習の推進

- ・市民、事業者、学校および市の関連部局などの情報共有のためのネットワークづくりの推進
- ・地球温暖化対策や新エネルギー※2に関する体験型環境学習の実施



都市交通にかかる環境負荷の低減

- ・EV(電気自動車)の普及および充電設備整備のための支援
- ・バスや鉄道など公共交通機関の利用促進のための普及啓発や仕組みづくり



拠点ネットワーク型都市※3づくり

- ・一定規模以上の開発区域内への新エネルギー※2導入の促進
- ・エコエネルギータウン化のモデル事業の可能性についての検討



災害防止対策の推進

- ・ハザードマップ※4の作成
- ・透水性舗装整備の推進

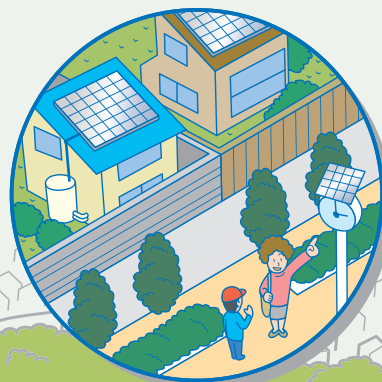
【用語解説】

- ※1 省エネナビ：電気の使用量を計測しリアルタイムに表示する機器。目に見えない電気の使用量を金額に換算して見えるようにすることで、無駄をなくそうという意識を喚起し省エネ行動を促進するもの。
- ※2 新エネルギー：「再生可能エネルギー」のうち、技術的に実用段階に達しつつあるが、経済性の面での制約から普及が十分でないもので、非化石エネルギーの導入を図るために必要なもの。現時点で今後、「普及すべき段階」にある『太陽光発電』や『太陽熱利用』、『雪氷熱利用』などが「新エネルギー」とされている。
- ※3 拠点ネットワーク型都市：市街地の集約化に向けて、地域特性を考慮しながら、拠点市街地となる主要鉄道駅周辺などに適正に都市機能を集積し、郊外の市街地から街中居住を促進するような、歩いて暮らせる魅力的な都市のこと。
- ※4 ハザードマップ：洪水や津波、火山噴火など災害発生時に、住民が安全に避難できるよう被害の予想区域や程度、避難場所などを示した地図。



ヒートアイランド※5対策の推進

- ・打ち水や緑のカーテン※6などの取り組みの周知啓発
- ・市街地における屋上緑化や壁面緑化など緑化推進のための支援



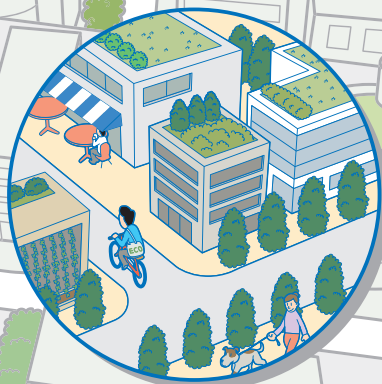
再生可能エネルギー※7の導入と普及促進

- ・太陽光発電、太陽熱利用システム、高効率給湯器などの効果や機器についての情報提供
- ・商店街などへの太陽光など新エネルギー※2導入を促進するための支援や共同利用できる仕組みなどについての検討



連携・協働の仕組みづくり

- ・「横須賀市地球温暖化対策地域協議会※8」との連携の強化
- ・地球温暖化対策の推進につながる「地域版ポイント制度」導入の検討



みどりの保全と創出

- ・市民緑地制度※9の活用によるみどりの保全
- ・市民や事業者に対する敷地内緑化の推奨および屋上緑化・壁面緑化などへの支援



ごみの減量化・資源化、適正処理の推進

- ・市民に対する「ごみトーク」などによる「ごみ」の発生抑制に関する周知啓発
- ・店舗や商店街との協力による簡易包装やレジ袋削減などの取り組みの推進

【用語解説】

※5 ヒートアイランド：都市部において高密度にエネルギーが消費され、また地面の大部分がコンクリートやアスファルトで覆われているため水分の蒸発による気温の低下が妨げられて、郊外部よりも気温が高くなっている現象。

※6 緑のカーテン：ゴーヤなどのツル性の植物を建築物の外側に生育させることにより、建築物の温度上昇の抑制を図る手法。

※7 再生可能エネルギー：自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用できるエネルギーの総称。太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱、大気中の熱、その他の自然界に存する熱など、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しない地球環境への負荷が少ないエネルギーといわれている。

※8 地球温暖化対策地域協議会：「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき設置される組織。地方公共団体、地域センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者が構成員となり、連携して、日常生活に関する温室効果ガス排出量の抑制などに関し必要となるべき措置について協議し、具体的に対策を実践することを目的としている。

※9 市民緑地制度：土地所有者からの申し出により、300㎡以上の土地について、市民利用など土地の公開を前提として市と契約を結び、市が管理を行うもの。

3 横須賀市における温室効果ガス排出量の状況

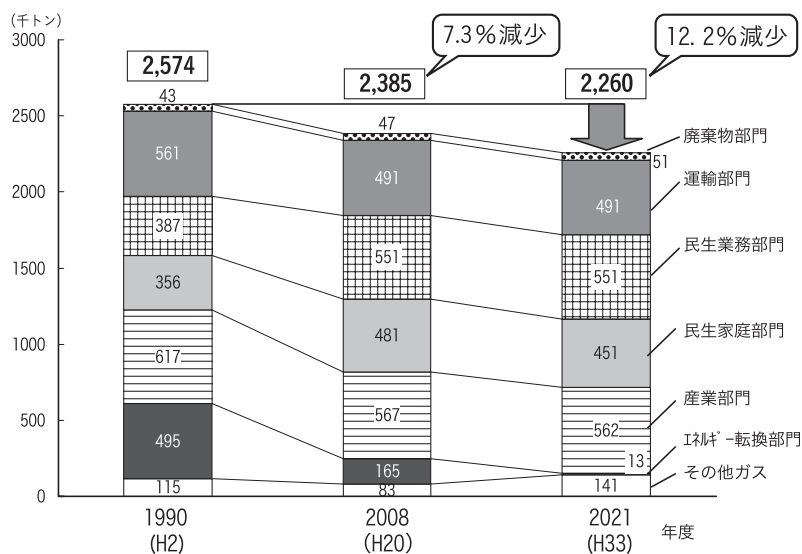
(1) 横須賀市における温室効果ガス排出量の状況

横須賀市域における2008年度(平成20年度)の温室効果ガスの総排出量は、約2,385千トンであり、1990年度(平成2年度)と比較すると7.3%減少しています。

部門別でみると火力発電所などのエネルギー転換部門が66.7%の減少となっている一方で、民生家庭部門、民生業務部門は大幅な増加傾向にあります。

また、2021年度(平成33年度)における総排出量は、現在行っている対策から追加的な対策を見込まない場合(現状趨勢ケース)に、12.2%減少すると推計されます。

図2 横須賀市における温室効果ガス排出量の現状と将来推計(現状趨勢ケース)



(2) 民生家庭部門における温室効果ガス排出量

地球温暖化対策を進めるにあたっては、私たち一人一人の日常生活における具体的な行動が不可欠です。

また、図2のとおり、民生家庭部門からの温室効果ガス排出量は、基準年度である1990年度(平成2年度)と比較すると増加傾向にあることから特に対策が必要となる部門です。

なお、温室効果ガス排出量の大部分を占める二酸化炭素(CO₂)のうち、家庭での用途別の排出量内訳を見ると、図3のとおり、全国的にも照明・家電製品などからの二酸化炭素(CO₂)排出量が約32.7%と最も多く、民生家庭部門における影響の大きさがわかります。

図3 家庭からの二酸化炭素排出量(用途別内訳、全国)



出典：「国立環境研究所 温室効果ガスインベントリオフィス ウェブページ」

4 計画の基本的事項と削減目標

(1) 計画の基本的事項

①計画の基準年度

本計画の基準年度は、1990年度(平成2年度)とします。

②計画期間および目標年度

i. 計画の期間

本計画においては、上位計画である「横須賀市基本計画(2011～2021)」および「横須賀市環境基本計画(2011～2021)」との整合を図り、計画の期間を2011年度(平成23年度)から2021年度(平成33年度)までの11年間とします。

ii. 目標年度

上記の二つの計画との整合を図るため、目標年度を2021年度(平成33年度)とし、削減目標を設定するとともに、その達成に向けた具体的な施策や取り組みを推進していきます。

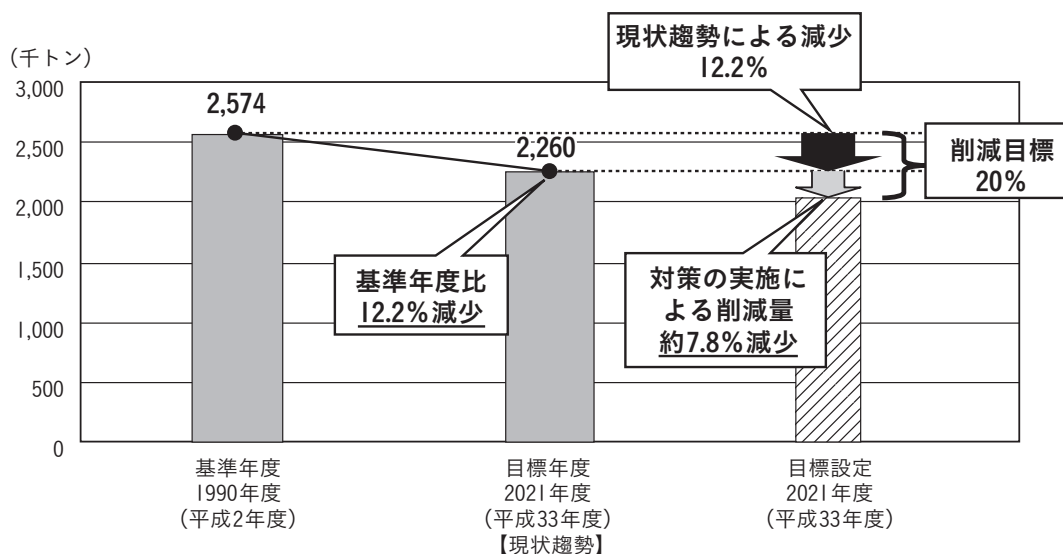
(2) 温室効果ガスの削減目標

計画の削減目標は、実現可能な対策の実施による削減量を算出し、以下のように設定します。

削減目標：

市域における温室効果ガス排出量を2021年度(平成33年度)に基準年度(1990年度(平成2年度))比で20%削減することをめざします。

図4 温室効果ガス排出量の削減目標



5 重点プロジェクト

本計画では、温室効果ガス排出量の削減に向けた目標の達成のため、3つの基本方針を掲げ、それに対応する形で、特に重要であると考えられる各種施策を横断的に推進していくものを3つの重点プロジェクトとして位置付けます。

基本方針1 経済と環境の好循環につながる施策の展開

産業部門や民生業務部門などの地域経済の発展を担う部門における対策を実施するにあたり、地球温暖化対策と同時に地域経済の活性化を促すことのできる施策を展開し、地球温暖化対策と経済の好循環の推進を目指します。

重点プロジェクト① 経済活動と環境活動の連携による地域活性化プロジェクト

地球温暖化対策に関する取り組みを実践することで、地域経済も活性化し、地域経済の活性化がさらなる取り組みの普及拡大を促すという「経済と環境の好循環システム」を作り出すための事業を展開します。具体的には、以下のような取り組みを進めます。

- 「地域版ポイント」などの制度の導入
例) 市民の省エネ行動などに対するポイントの付与 など
- 「地域版ポイント」を活用した事業
例) ポイントを省エネ・新エネ関連企業などの製品と交換できる制度 など



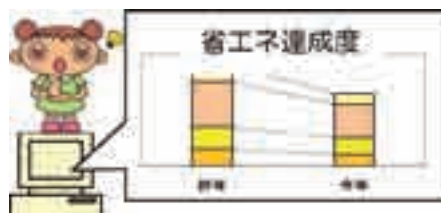
基本方針2 進んで取り組む環境にやさしいライフスタイルへの転換

市民や事業者が進んで環境にやさしいライフスタイルへ転換することを促すため、地球温暖化対策に取り組むことで経済的な利点（メリット）が得られるような仕組みづくりを目指します。

重点プロジェクト② 省エネ“はじめの一歩”プロジェクト

地球温暖化対策に関する積極的な取り組みに対する顕彰制度など、市民や事業者が自ら進んで省エネに取り組めるような仕組みを構築し、日常生活や事業活動における市民や事業者の省エネ活動を促進します。具体的には、以下のような取り組みを進めます。

- 取り組みの「見える化」につながる仕組みの構築
例) インターネットなどを活用した省エネ診断などの仕組みの構築 など
- 顕彰制度の導入と普及啓発
例) 模範・参考となる活動の表彰 など



基本方針3 低炭素社会を構築し、地球温暖化に対応したまちづくりの推進

新エネルギーの積極的な導入・推進を図るとともに、公共交通機関の利用など都市交通に係る環境負荷の低減を図るなど、地球温暖化対策に対応したまちづくりの推進を目指します。

重点プロジェクト③ 低炭素まちづくりプロジェクト

市域において「低炭素まちづくり」を構築するモデル的な施策を実施し、シンボリックな役割を担うことで、市民への普及啓発効果と今後の取り組みにつなげていくためのきっかけづくりを進めます。具体的には、以下のような取り組みを進めます。

- 環境にやさしい交通ネットワークモデル事業
例) EV（電気自動車）タクシー、コミュニティサイクルのモデル的導入 など
- 環境にやさしい低炭素モデル事業
例) 商店街などへの太陽光発電などの新エネルギーや省エネ機器導入支援 など



6 横須賀市役所における取り組み

横須賀市役所では、一事業者として、これまで、市の事務・事業から発生する温室効果ガス排出量削減のための取り組みを、横須賀市環境マネジメントシステム（YES：Yokosuka Environmental management System）により進行管理（点検・改善）を行いながら推進してきました。本計画においても、継続的な改善を行いながら、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進します。

温室効果ガス排出量の削減目標

- 市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量を2021年度（平成33年度）に基準年度（2008年度（平成20年度））比で5%削減することをめざします。

（単位：トン）

2008年度（平成20年度） 【基準年度】	削減量	2021年度（平成33年度） 【目標】	増減率
65,798	3,290	62,508	-5.0%

- * この目標は、1990年度（平成2年度）比で1.1%の削減となります。
- * この目標値には、「指定管理者施設」（営利法人などに包括的に管理・運営を代行させている市の施設）は、国の策定マニュアルにおいて対象外とされているため、対象としていません。

7 推進体制・進行管理

（1）推進体制

本計画を実効性のあるものとし、効果的に推進するためには、市だけではなく、市民・市民団体・事業者との連携・協働による取り組みが必要不可欠となります。市は関係部局と連携・調整しながら、積極的かつ計画的に施策を推進するとともに、市民・市民団体・事業者・市などで構成する「横須賀市地球温暖化対策地域協議会」を中心として取り組みを推進していきます。

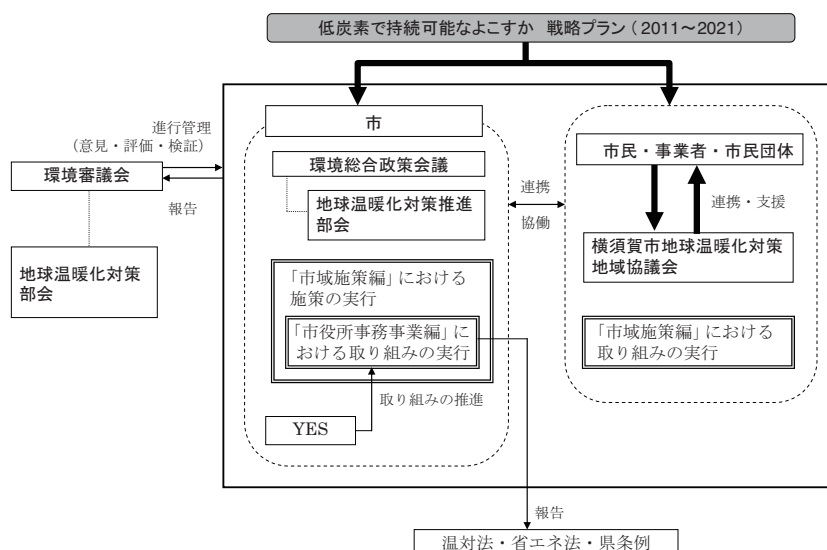
（2）進行管理

市域における施策や取り組みの進行管理にあたっては、外部組織の「横須賀市環境審議会」および庁内組織の「環境総合政策会議」を中心に施策の進行状況などの確認・検証を行っていきます。

また、市の事務・事業における取り組みの進行管理にあたっては、引き続き「横須賀市環境マネジメントシステム（YES）」を活用し、市の取り組みの継続的な点検・改善を行っていきます。

毎年度の施策の実施状況・進捗状況については、「環境報告書」や市のホームページで公表します。

図5 推進体制と進行管理の仕組み



家庭でできる主な取り組みとその効果(目安)

地域において地球温暖化対策を推進するためには、日常生活において身近なところからできる取り組みを実践していくことが必要です。

これらの取り組みは温室効果ガス排出量の削減効果だけではなく、光熱水費などの経費の節減にもつながります。

【取り組みの例】

取り組みの内容	効果(年間)	
	節約金額(円)	CO ₂ 削減量(kg-CO ₂)
省エネ行動の実践		
エアコンの温度は、夏は28℃、冬は20℃を目安に設定しましょう。	2,011	34.83
テレビはつけっぱなしにせず、見ない時は消しましょう。	362	6.27
パソコンは、使わない時は電源を切りましょう。	762	13.20
主電源をこまめに切って待機電力を節約しましょう。	7,432	128.74
電気ポットは、長時間使用しない時はプラグを抜きましょう。	2,593	44.91
シャワーの水は流しっぱなしにしないようにしましょう。	2,748	28.55
省エネ型家電の選択・住宅の省エネ化の実践		
古いタイプのエアコンを買い替える際は、省エネタイプを選びましょう。	6,002	103.96
白熱電球を電球型蛍光灯などに替えていきましょう。	2,599	45.02
その他の取り組み		
発進する時はゆっくりアクセルを踏む、できるだけ加速・減速の少ない運転をするなどエコドライブを心がけましょう。	12,798	262.02
買い物の際は、マイバッグを持ち歩きましょう。	—	58.00

出典：「家庭の省エネ大事典2010年版」(財団法人省エネルギーセンター)

「環境省ホームページ CO₂削減量の算出根拠」(<http://www.team-6.jp/try-1kg/calculate/>)

これらの取り組みを実践すると1世帯あたり年間「37,307円の節約」、
「725.5kgのCO₂削減」につながります。



1世帯あたりのCO₂削減量を木の吸収量に換算すると…
約73本分の年間吸収量に匹敵します！

また、横須賀市の全世帯(約16万6千世帯)が取り組みを実践すると…
約12万トンのCO₂削減につながります。

※これは横須賀市域における温室効果ガス排出量(2008年度(平成20年度))の約5%にあたります。

低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021) ～横須賀市地球温暖化対策行動計画～

概要版

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地
横須賀市環境政策部環境企画課
TEL: 046-822-8524 FAX: 046-821-1523
E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

この印刷物は、グリーン購入法に基づく平成22年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断の基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて製作しています。

この冊子は、1,000部製作し、1部あたりの印刷経費は143円です。

リサイクル適性